

## 29. 書道章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 中国及びわが国における書の変遷と現代の書の動向について述べること。	口述または記述		
(2) 20字程度の漢字仮名まじり文を選び、楷書・行書及び草書で書いた作品を提出すること。	作品の提出		
(3) 漢字(楷書)の基本点画を初心者に正しく指導できること。	実演		
(4) 書写の用具、用材について一般的な知識を有し、その正しい取り扱いができること。	口述または記述 および実演		
(5) 古典または現代書家の作品について、表現効果、造形要素、制作の意図などの観点から鑑賞し、その感想を述べること。	記述		
(6) 作品を2回以上展示会に出品した経験を有すること。	証明書の提示		
(7) 団または地域社会での行事で使われる立看板、式次第などを作成すること。	隊長の証印		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 技能章考查員 \_\_\_\_\_印

## 30. 竹細工章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 竹材の種類と特性、用途が説明できること。	実演(識別)および口述		
(2) 竹細工用の道具の種類とその使用方法、手入れ法を知ること。	口述または記述		
(3) 次の作品を作ること。 ア かご、またはざる1種以上 イ 花筒、鳥かご、虫かご、すだれ1種以上 ウ 竹の玩具2種以上 エ 竹で作った楽器2種以上	作品の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 技能章考查員 \_\_\_\_\_印

## 31. 伝統芸能章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 自分の地域において継承、保存されている民俗芸能(*)をあげ、その内容、由来、特徴などについて説明すること。	口述または記述		
(2) 自分の地域の民俗芸能のうち1つを選び、それを演ずることができ、その保存に参加していること。	実演および参加記録の提出		

〈\*その地方の社会一般の人々により伝承されている習俗としての芸能で、いわゆる各地方の年中行事を含む。〉

考查課目の全てに合格したことを証明します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 技能章考查員 \_\_\_\_\_印

## 33. 木工章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 木材10種以上を見分け、その特徴と用途を知ること。	実演および口述		
(2) のこぎり、糸のこぎり、かんな、のみ、小刀、きり、ドライバー、金づち、ペンチ、釘抜きを正しく使用でき、その手入れと保存を実行していること。	実演および口述		
(3) 木材の接合(貼り付け、釘付け、簡単な接手仕口)ができること。	作品の提出		
(4) 次のうちからそれぞれ1つを作品として提出すること。(塗装を含む) ア 簡単な机、椅子、本箱、書棚 イ 筆箱、筆立、本立、額縁、はし箱、すずり箱	作品の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 技能章考查員 \_\_\_\_\_印